

沼田城再建計画概要書

沼田城を造る会

沼田城再建の意義

「沼田城再建」は「まちなか再生」の最後の切り札です。
未来を担う子供達に伝える郷土愛の醸成と地域の活性化を実現

「沼田城再建」により沼田市が活性化する 4 つの要素

日帰り観光客の一人当たり平均消費額は県外客・県内客を含めた平均で約 3,000 円です。宿泊観光客は一人当たり約 17,000 円となります。松本城では年間 70 万人の観光客が訪れていますので沼田城が建設された場合、年間 30 万人程度は来てくれると思定され、9 億円前後の年間経済効果が期待出来ます。この金額は沼田市以外から取得するものなので、市内のお金の流通が増えることで、沼田市の経済活性化に大きく貢献出来るものになります。

幼少期より城下町の誇りを醸成することで、減少する人口に対して歯止めを掛けられます。いかに人口減少を食い止めるのかまた、いかに人口を増やすか、という点で、地域の誇り高いシンボル・沼田城は重要な役割を果たします。

沼田市に染み渡る郷土に対する愛と誇りが連なる文化として君臨するもの。地域の誇りとなる沼田城はその歴史やエピソードなど郷土に対する愛情や誇りを後世に受け継がれるものとなるでしょう。



日本の全国各地で増えている「シャッター通り」。沼田市も例外ではなく、かつては栄え、賑わっていた商店街も、店じまいするケースが増えたことで閑散となっています。これを解決するには沼田城再建しかありません。大分県高田市では 1935 年ごろに建てられた米蔵に「昭和口マン蔵」というテーマパークを 2002 年にオープンさせ、シャッター通りとなっていた商店街は、それ以降に観光客が年々増加し、年間で約 40 万人が訪れるまでになりました。多くの新たなビジネスが生まれ賑わいを取り戻しています。

日本各地のお城を持つ地域の新たな SDGs 教育プログラムとして「城育」(しろいく) が始まっています。沼田城再建の暁には沼田城を舞台に「なぜここに築城したのか、どのように引継がれてきたのか、こんなにも石垣を美しく積み上げらる昔の技術は?なぜ、取壊しとなったのか」など楽しく、想像力を高めていく SDGs 教育プログラムを実施します。沼田市内の小・中・高等学校にて今までにない教育プログラムで郷土の歴史を学ぶことにより深い郷土愛を育くみます。

沼田城建築考証監修者・木匠による考察

日本を代表する日本城郭史の第一人者と全国のお城の復元・再建を手掛ける木匠の協力による再建計画

NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」「青天を衝け」「麒麟がくる」などの建築考証、名古屋城放映動画などを監修する日本城郭史の第一人者



沼田城を造る会 監修者
三浦 正幸 教授

広島大学名誉教授
専門は日本建築史・城郭史・文化財学。神社・寺院・城郭・茶室・民家の歴史や構造などの研究の第一人者。

日本の古建築（神社・寺院・城・民家・近代建築）に関する文化財学で、全国でも数少ない文理科横断的研究を推進。天守の復元的研究、出雲大社や厳島神社などの国宝建造物研究、全国各地の社寺建築・町並・近代建築などの実地調査、文化財建造物の保存や城跡などの理科横断的研究を推進。
2022年のNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」建築考証を務める。

ぐんまの匠賞を受賞！熊本城復元工事など全国のお城復元を支える宮大工の棟梁



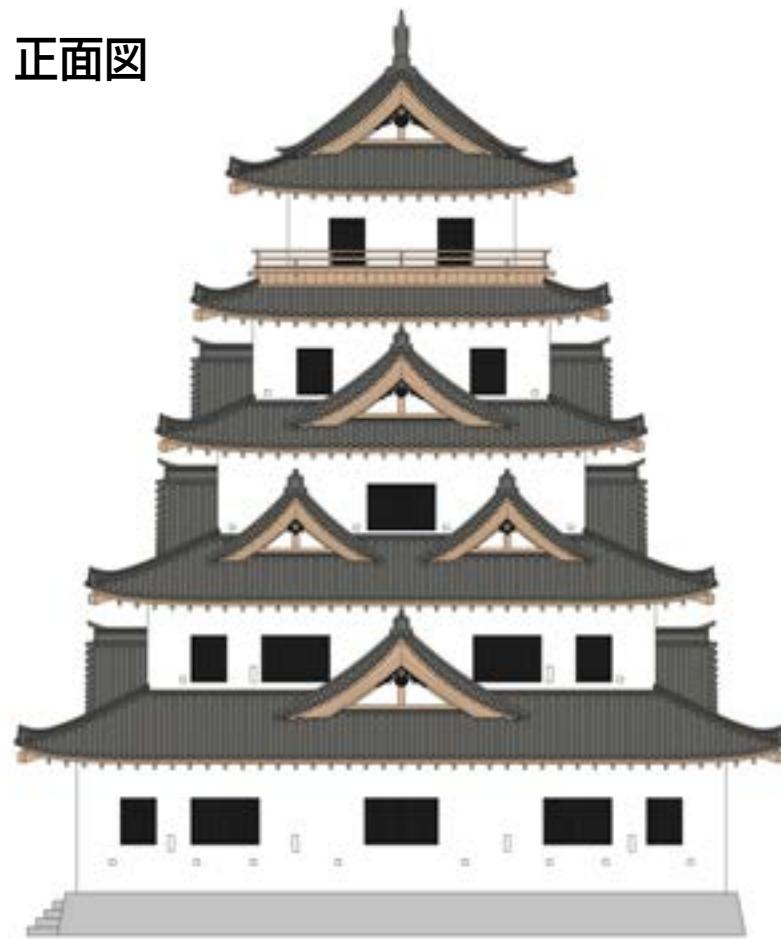
沼田城を造る会 顧問
木匠 小野 康博氏

勾匠社寺建築(コウショウシャジケンチク)木匠(モクショウ)
第9回ぐんま街・人・建築大賞 ぐんまの匠賞を受賞
日本建築士会全国大会 伝統的技能者表彰を受賞

沼田市において大工業を営みつつ県内や関西の宮大工と交流し、長年の修行と独自の研鑽によって宮大工としての優れた技術を身につけるに至った。2019年大嘗宮御造営工事に携わる宮大工の一人に抜擢され、全国の城・神社仏閣の復元や再建を担当。沼田市においては総鎮守榛名神社の神輿造営工事の棟梁に抜擢されるなど県内の寺社建築等においても習得した技術を発揮している。

三浦正幸教授による沼田城建築考証

正面図



側面図



三浦教授が当時の時代考証から沼田城建築考証を行い総床面積は 228.6 坪程度で石垣なしと判断をいただきました。

沼田城建設費概算費用と年間収支予測

三浦正幸教授監修による想定規模

新式の層塔型五重天守 本瓦葺き 外壁白漆喰

1階 10.00間×9.00間 =90.00坪

2階 7.58間×8.70間 =65.80坪

3階 5.43間×6.50間 =35.50坪

4階 4.33間×5.42間 =23.45坪

延床面積 228.60坪

沼田城年間収支予測

収入の部

入場料 大人 20万人×500円= 1億円

子供 5万人×200円= 1,000万円

物販 10万人×600円= 6,000万円

売上合計 1億 7,000万円

物販粗利 30% 想定 1,800万円

粗利合計 1億 2,800万円

(1人当利益 512円)

建設工事概算

木造 5階 228坪×500万円=11億 4,000万円

建築本体基礎丸太工事 18m×16m= 1億円

石垣裏込工事 1億 5,000万円

石垣工事(野面積み) 1億 5,000万円

造成工事など =1億円

その他工事(盛り土・土堀・造園など) = 1億円

合計 17億 4,000万円

支出の部

人件費 正社員 5名×500万円 =2,500万円

パート 10名×1000円(8H×24日×12ヶ月)=2,300万円

水道光熱費 50万円×12ヶ月 = 600万円

イベント費など 50万円×12ヶ月 = 600万円

事務費 30万円×12ヶ月 = 360万円

福利厚生費 人件費の15% = 720万円

修繕積立金 = 500万円

その他経費 50万円×12ヶ月 = 600万円

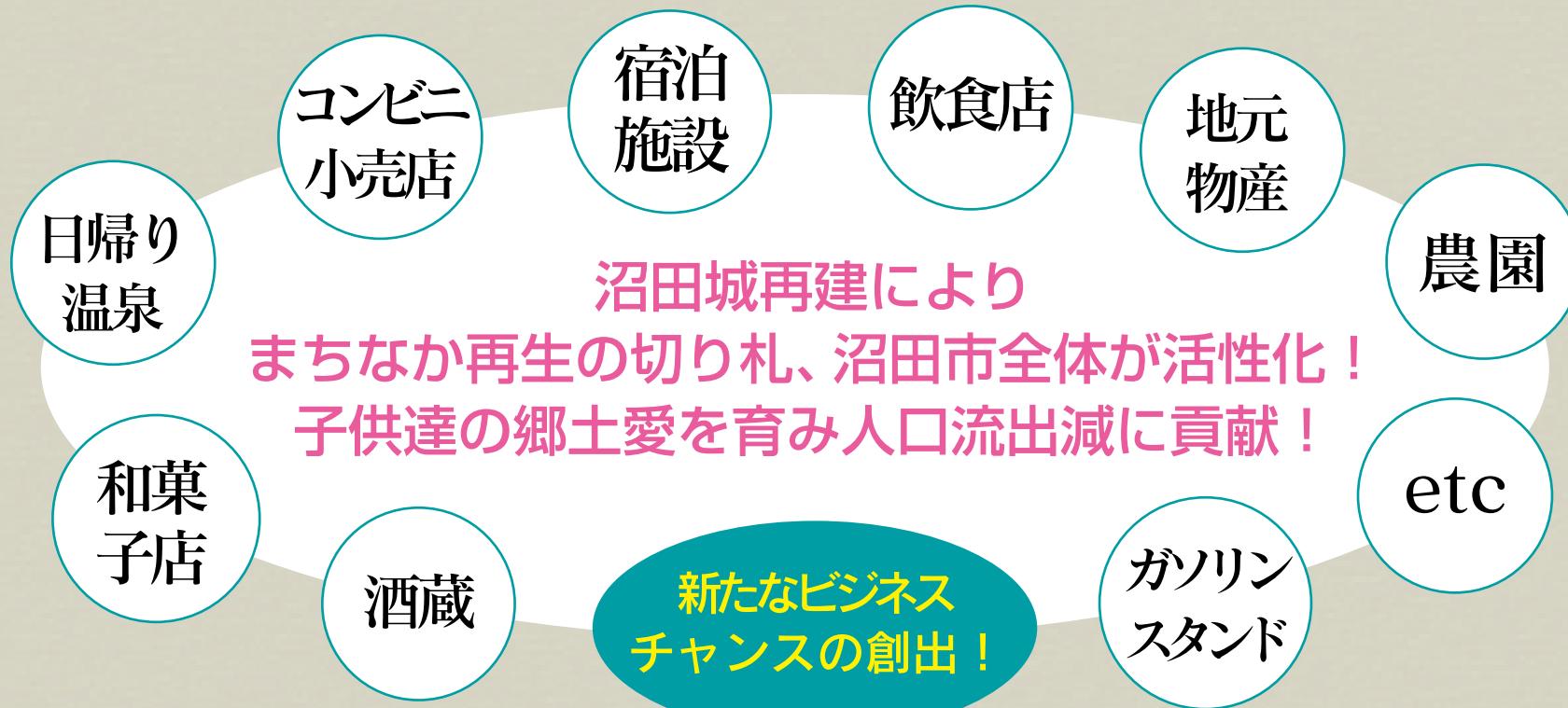
支出合計 8,180万円

年間収支予測 1億 2,800万円 - 8,180万円 = 4,620万円

※損益分岐入場者数 159,760人 (大人 127,800人 子供 31,952人)

沼田城建設による経済波及予測

実質経済効果 9 億円以上の収入が期待出来ます！
若者達に新しいビジネスチャンスを創りだし、
まちなか活性化を実現する一大プロジェクトです！



市民意識

大多数の住民が沼田城再建による地域活性化により
豊かな生活が送れることを望んでいます。

沼田城を造る会アンケート調査 (2016年10月実施)

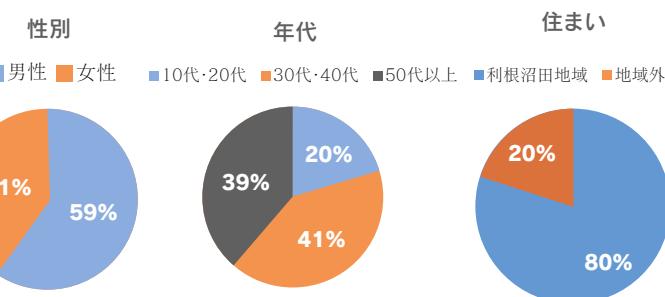
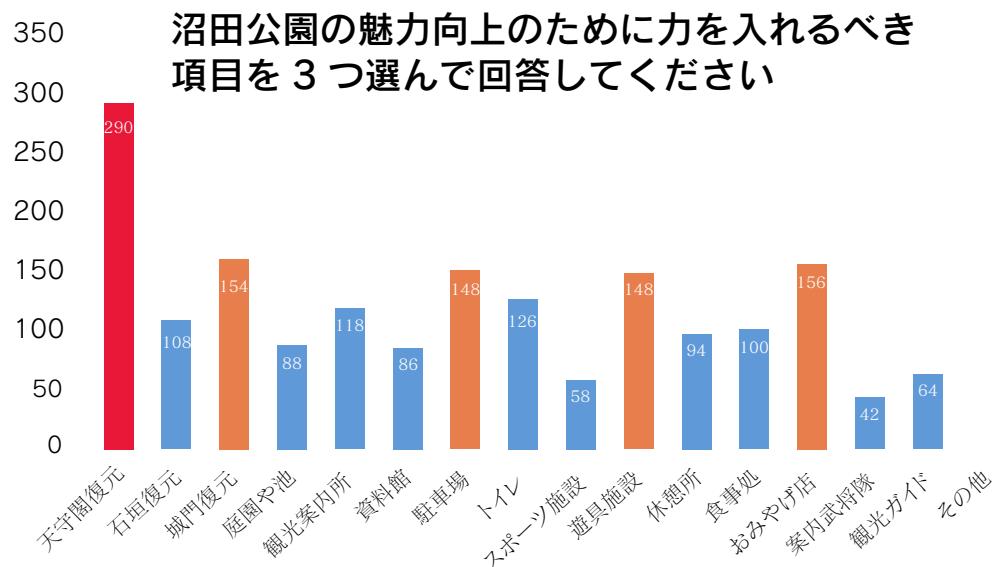
◆調査概要

調査手段：アンケート用紙による回答

実施場所：沼田市オータムフェスタ会場内（沼田公園グラウンド）

調査期間：2016年10月8・9日（土日）10:00 - 15:00

回答者：沼田地域の方（730人）、地域外の方（188人）／計918人



利根沼田の地域活性化に向けて沼田城があつたほうがいいと思いますか？

